

平成19年度北海道文化財年報



平成20年7月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を広く共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えて行くため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組むことになりました。

この年報では、国宝をはじめとして新たに指定・選定された文化財や、世界遺産登録に向けた取り組み、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及・活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

ご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/index>



重要文化財動物形土製品(北海道千歳市美々第四遺跡出土)

I 平成 19 年度文化財保護の主なあゆみ

○新指定の文化財

平成 19 年 6 月 8 日付けで函館市(旧南茅部町) 著保内野遺跡出土の「土偶」が北海道初の**国宝**に指定されました。この国宝指定の他に、国の重要文化財、重要文化的景観にそれぞれ 1 件、道の有形文化財、史跡にそれぞれ 1 件が指定・選定され、国の登録文化財には 5 件が登録されました。

○世界遺産登録へ向けた取組

北海道では、**世界遺産(文化遺産)**の国内候補遺産リストである暫定一覧表に登載されるよう、平成 19 年 9 月 25 日に「**北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群**」(北海道・北見市・標津町共同提案)、12 月 19 日に「**北海道・北東北の縄文遺跡群**」(北海道・青森県・岩手県・秋田県共同提案)の 2 件の提案書を文化庁に提出しました。

○北海道・東北ブロック民俗芸能大会の開催

平成 19 年 10 月に江別市民会館を会場に第 49 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会を開催しました。北海道の 4 団体を含む 10 団体の民俗芸能が披露され、多くの方が鑑賞に訪れました。

○アイヌ民俗文化財の保存・伝承

アイヌ民俗文化財の保存・伝承事業を実施し、3 冊の報告書を作成するとともにアイヌ用語学習講座などを道内 48 会場で実施しました。

○文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を 17 件実施しました。このうち、函館市の特別史跡五稜郭跡では箱館奉行所庁舎の復元工事が平成 18 年度から継続して行われており、平成 22 年に一般公開される予定です。

○埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、工事や開発から保護するために 159 件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。埋蔵文化財の発掘調査は 93 件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

特別史跡五稜郭跡内箱館奉行所庁舎復元想像図



1 新たに指定・選定された文化財

平成 19 年度は国宝に 1 件、国の重要文化財、重要文化的景観にそれぞれ 1 件、道の有形文化財、史跡にそれぞれ 1 件が指定・選定され、国の登録文化財には 5 件が登録されました。

●国指定・選定

- ①**国宝** 函館市「土偶(北海道著保内野遺跡出土)」(平成 19 年 6 月 8 日付け)
- ②**重要文化的景観** 平取町「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」(平成 19 年 6 月 8 日付け)、
- ③**重要文化財** 函館市「大谷派本願寺函館別院」(平成 19 年 12 月 4 日付け)

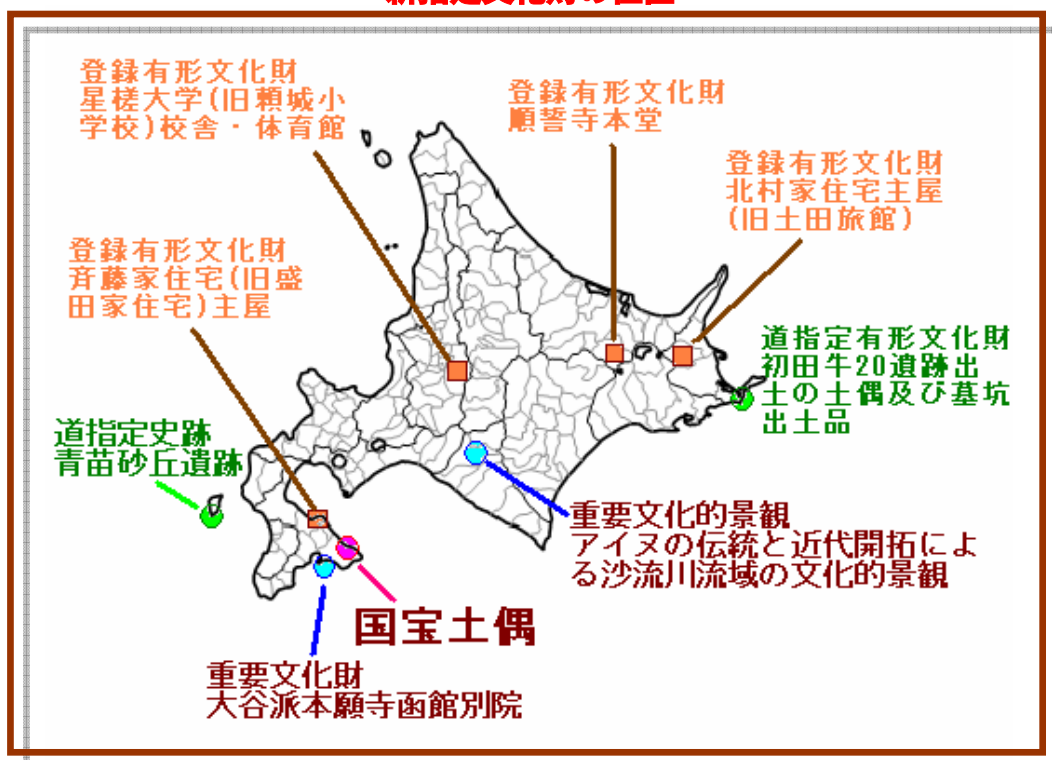
●道指定

- ①**史跡** 奥尻町「青苗砂丘遺跡」(平成 20 年 3 月 18 日付け)
- ②**有形文化財** 根室市「初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土品」(平成 20 年 3 月 18 日付け)

●登録文化財(有形文化財)

- ①森町「斉藤家住宅(旧盛田家住宅)主屋」(平成 19 年 7 月 31 日付け)
- ②津別町「順誓寺本堂」(平成 19 年 7 月 31 日付け)
- ③中標津町「北村家住宅(旧土田旅館)」(平成 19 年 10 月 2 日付け)
- ④芦別市「星槎大学(旧頼城小学校)校舎」(平成 20 年 3 月 7 日付け)
- ⑤芦別市「星槎大学(旧頼城小学校)体育館」(平成 20 年 3 月 7 日付け)

新指定文化財の位置



指定文化財の紹介

国宝土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土） 大きさ：高 41.5 cm



土偶(左)とその頭部



発見者と知事
(平成 19 年度特別展の一コマ)

【解説】縄文時代後期の集団墓の一角から、土坑に埋納された状態で発見された土偶です。薄手中空で、頭部の突起・両腕は欠損していますが、その他はほぼ残存し、頭部から脚先まで全身が精緻につくられています。顎の部分には黒色の、胴部には赤色の顔料が塗られていた痕跡もあります。本土偶は中空土偶として現存しているもののうち最大、かつ遺存状態が良好で、その出土状態を把握することもでき、当時の信仰や祭祀の実態を明らかにする上で欠かせない資料です。

縄文時代後期を代表する優品として、また土偶造形の到達点を示すものとして、極めて貴重です。

【公開】市立函館博物館で不定期に公開されています。詳細は博物館にお問い合わせください。電話 0138-23-5480。ホームページ→<http://www.museum.hakodate.hokkaido.jp/>

重要文化財 大谷派本願寺函館別院（函館市）



表門



本堂

【解説】大谷派本願寺函館別院は、明治40年(1907)の函館大火で堂宇を焼失した後に、当時帝室技芸員であった伊藤平左衛門9世の設計により鉄筋コンクリート造で再建された寺院建築です。本堂は大正4年11月に竣工し、正面が33mと大規模で、平面は典型的な真宗本堂形式となっています。鉄筋コンクリート造建築の初期の遺構であり、鉄筋コンクリート造で伝統様式を再現した我が国で最初の寺院建築として高い歴史的価値があります。また、耐火建築として、その後の函館市街地への不燃建築普及の契機となったもので、深い意義が認められます。

【所在地】函館市元町16-5 詳しい場所はこちら ([googlemap](#))

【問い合わせ先】函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話0138-23-5480

重要文化的景観 アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観

【北海道沙流郡平取町】



【解説】「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、日勝峠を源とするシシリムカ（沙流川）の流域に展開しています。沙流川はかつてシロザケなどが遡上し、アイヌの人々の生活を支える豊かな漁場であるとともに

に、チブサンケ（舟おろし祭）などの舞台となる聖域としても重要でした。沙流川流域とアイヌの人々との関係は深く、川原に生育するヤナギはイナウ（木幣）の製作に不可欠であり、広い沢筋に発達するハルニレの林床にはトレブ（オオウバユリ）やブクサ（ギョウジャニンニク）といった有用な植物が多数生育しています。沙流川は、数年から数十年周期の大雨で大氾濫を起こし、これらの植物を洗い流してしまいましたが、長期的にみればササ類の繁茂を防ぐことによってハルニレの林に新たな有用植物の再生を促すこととなります。この現象はアイヌ語で「モシリ・エル・ウシ」（「大地がたわむ」の意）と呼ばれ、アイヌの人々が川と森の関係を認識し、これを利用して生活したことは沙流川流域の文化的景観の価値を示す最も大きな要素です。

また、沙流川中流域に形成された河岸段丘面には、近代開拓によってこの地域に移住した人々が営んだ牧野林が広がっています。牧野林は、エゾミヤコザサが冬期に馬の餌となるため、北海道で広く行われた林間放牧によって生まれた独特の森林利用の形態です。今日、まとまった特徴が認められる状態で維持管理が行われているものとしては、日高地方に残るものが最大規模です。

以上のように、「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。

【問い合わせ先】平取町教育委員会文化財課文化財係（二風谷アイヌ文化博物館内）

〒055-0101 沙流郡平取町二風谷 電話 01457-2-2892、FAX 01457-2-2828

博物館のホームページ→<http://www.ainu-museum-nibutani.org/>

道指定有形文化財 初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物



土偶(表)



(裏)



墓坑出土の石器・櫛など



発掘調査風景

【解説】北海道東部では、これまで土偶の出土例は極めて少なく、本例は、道央・道南地方に集中する土偶を伴う祭祀が道東地方まで広がっていたことを示す縄文時代後期後半の貴重な資料です。また、土偶が置かれていたと推定される墓坑からの出土遺物は、土偶との関連を示す資料として貴重です。

【公開】根室市歴史と自然の資料館(根室市花咲港 209 番地 電話 0153-25-3661)

ホームページ→<http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/section/rekishi/frame.html>

道指定史跡 青苗砂丘遺跡



竪穴住居跡

青苗砂丘遺跡遠景



出土したオホーツク式土器

【解説】青苗砂丘遺跡は、発掘調査によりオホーツク文化期の住居跡や墓が確認されたことから、これまで、主にサハリン島南部や道北・道東沿岸部に分布するとされていたオホーツク文化が日本海を南下して奥尻島まで及んでいたことを示す貴重な遺跡です。また、土師器や碧玉製管玉など本州から運ばれた遺物も出土していることから、この遺跡において北方と南方の文化が交流していたこともわかります。

【所在地】奥尻郡奥尻町字青苗 337-1、362、364、457、457 地先（国有未開地）
詳しい場所はこちら([googlemap](#))

【問い合わせ先】奥尻町教育委員会（〒043-1401 奥尻町字奥尻 314）
電話 01397-2-3890、FAX 01397-2-3891

国登録有形文化財 斉藤家住宅(旧盛田家住宅)主屋



【解説】 渡島地方の網元民家の特徴を良く伝える建築物です。もとは、鹿部町大岩に建てられていたもので、現在は内浦湾を望む森町に移築されています。

桁行 18 m、梁間 11 m、木造平屋一部 2 階建で、建物正面には出窓が付けられ、その格子飾りは繊細です。床の間、違い棚の座敷飾りなども建築当時の姿を残しています。

【年代】 明治 35 年(平成 18 年移築)

【所在地】 森町字鷺ノ木 233-1 詳しい場所は [こちら](#) ([googlemap](#))

【問い合わせ先】 森町教育委員会 (〒049-2326 森町字御幸町 132) 電話 0137-42-2186

国登録有形文化財 順誓寺本堂



本堂



本堂の内部

【解説】 順誓寺は浄土真宗のお寺で、津別町市街地の中心部にあります。本堂は境内奥寄りに東西に面して建てられ、桁行7間(約12.6m)、梁間7間(約12.6m)です。内部の柱は円柱で、内陣と外陣の境にある欄間には華やかな装飾があります。この装飾・彫刻はパネル状に仕上げられものを北陸地方から運び、順次欄間に取り付け完成したことが古写真からわかっています。

【年代】 昭和10年

【所在地】 津別町字新町16(電話 0152-76-2720) 詳しい場所はこちら([googlemap](#))

【問い合わせ先】 津別町教育委員会 (〒092-0292 津別町幸町41) 電話 0152-76-2151

ホームページ→

<http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/02kurashi/50manabi/10syogaigakusyu/2007-1117-1820-11.html>

国登録有形文化財 北村家住宅主屋(旧土田旅館)



【解説】この建物は、大正5年の「武佐駅通所」に、宿泊所を増築したものが原型です。現在は、旧国鉄上武佐駅周辺の市街地にあり、木造2階建て、ひし形トタンを葺いた屋根となっています。2階正面は半間張り出しが特徴的で、太い梁や書院造の障子などは良い意匠を残しています。中標津町内では木造2階建ての建物として、最古のものです。

【備考】武佐駅通所の宿泊施設として増築されたものです。

【年代】昭和2年（昭和11年移築、平成13年修理）

【所在地】中標津町字武佐 957-6 詳しい場所はこちら([googlemap](#))

【問い合わせ先】中標津町教育委員会（〒086-1197 中標津町丸山2丁目22）

電話 0153-73-3111

ホームページ→http://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/bunkazai.htm

国登録有形文化財 芦別市星槎大学(旧頼城小学校)校舎・体育館



校舎



体育館

【校舎解説】煉瓦造 2 階建の学校建築です。西向きに玄関を開く職員室棟から東へ片廊下の北教室棟が延び、職員室棟の南にも片廊下の南教室棟が丁字形に接続しています。屋根は寄棟造鉄板葺で、内・外壁とも煉瓦のイギリス積です。100mを超える長大な北教室棟は壮観です。

【体育館解説】職員室棟の北に渡り廊下で接続する木造平屋建ての東西棟です。屋根は切妻造の鉄板葺で、外壁は腰を鎧下見板張、上部をモルタル塗とし、上下2段に窓を開きます。内部は東端にステージと器具庫、西端に物入を設けています。2ヒンジ・トラスの木造小屋組に構造美を見せています。

【所在地】芦別市緑泉町 5-14(電話 0124-24-3830) 詳しい場所はこちら([googlemap](#))

【問い合わせ先】芦別市星の降る里百年記念館 (〒075-0014 芦別市北 4 条東 1 丁目 1)
電話 0124-24-2124

2 世界遺産登録を目指して

北海道では「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」（北海道・北見市・標津町共同提案）、及び「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道・青森県・岩手県・秋田県共同提案）の世界遺産(文化遺産)登録を目指しています。

世界遺産に登録されるためには、国内の候補遺産リストである暫定一覧表に追加される必要があります。暫定一覧表への追加は地方自治体からの提案を基に、文化審議会の世界文化遺産特別委員会で審議のうえ決定します。そのため、北海道は文化庁に対し、世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る次の2つの提案書を平成19年度に提出しました。

(1) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」（北海道・北見市・標津町共同提案）

北海道東部のオホーツク海沿岸に所在する常呂遺跡、標津遺跡群は、我が国最大規模の竪穴住居跡群で、埋まりきらずに窪みとして残っている竪穴住居跡が、地表面から、合わせて5,000軒以上確認できる遺跡です。

窪みの形状や分布調査等の結果から、両遺跡の時代・時期は、縄文時代早期から続縄文時代を経て、擦文・オホーツク文化期、アイヌ文化期に至るまでの約8,000年間の長い期間にわたっています。

このことは、両遺跡とも、自然と共生した人々の生活が継続的に営まれてきたことを物語り、人類と自然の調和を示す顕著な見本であることから、周辺の自然環境とともに、世界遺産としての価値を十分に有していると考えられます。

(2) 「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道・青森県・岩手県・秋田県共同提案）

縄文文化は、日本列島において、自然との共生のもと約1万年もの長きにわたって営まれた高度に発達、成熟した採集、狩猟、漁労文化で、ヨーロッパや大陸の同時代の文化と比較しても、本格的な農耕や牧畜を持たない、新石器文化としてはきわめて独特なものであり、日本人の価値観や自然観の形成に大きく関与するなど日本の基層文化と言われています。

なかでも、北海道・北東北は、我が国最大級の集落跡である三内丸山遺跡や大規模記念物である大湯環状列石を始め、縄文文化の様相を今に伝える遺跡の宝庫であり、各時期にわたる学術的に重要な遺跡が多数所在し、適切に保存されています。

これらの縄文遺跡群は、日本の歴史はもとより、人類史における狩猟採集社会の成熟した様相を顕著に物語るものであり、世界遺産としてふさわしい価値を持つものです。

なお、世界遺産暫定一覧表記載候補資産に係る提案書を次の北海道教育委員会ホームページで公開していますのでご覧ください。

- ・「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」（北海道・北見市・標津町共同提案）→

<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19world-heritage-tateana.htm>

- ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」（北海道・青森県・秋田県・岩手県共同提案）→

<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19world-heritage-jomon.htm>

「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」(北海道・北見市・標津町共同提案)



**標津町伊茶仁カリカリウス遺跡
(残雪部分が竪穴住居跡)**

標津町標津遺跡群(空撮)



北見市常呂遺跡(空撮)

「北海道・北東北の縄文遺跡群」(北海道・青森県・秋田県・岩手県共同提案)
国指定史跡 洞爺湖町入江・高砂貝塚



国指定史跡 伊達市北黄金貝塚



森町鷺ノ木遺跡

函館市大船遺跡



3 第49回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道教育委員会と実行委員会が主催する「第49回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」が平成19年10月21日(日)、江別市民会館(江別市)を会場として開催されました。

この民俗芸能大会は、北海道や東北6県に伝承されている民俗芸能を、多くの方々に鑑賞していただき、ふるさとの民俗芸能のすばらしさを知っていただくとともに、無形民俗文化財の保存と伝承についての理解と協力をいただくために、昭和34年から、各道県が持ち回りで開催してきました。

開催当日は、北海道と東北各県から推薦された10団体に、それぞれの地域を代表して郷土色豊かな民俗芸能を披露していただきました。北海道からは、**江差姥神大神宮渡御祭り囃子**(江差町)、**新しのつ祭り囃子**(新篠津村)、**黒森流西の里権現舞**(北広島市)及び**野幌太々神楽**(江別市)の4つの演目がそれぞれの保存会等により披露されました。

あいにくの空模様にもかかわらず、地元江別市民の方々をはじめ、近隣の市町村の方々など約1,000名の入場者を迎え、大会は成功裡に終了しました。来場の皆さんには、北海道各地に根付き伝承されてきた郷土芸能を再認識いただくとともに、東北地方の郷土色にあふれた多様な民俗芸能の技と心を堪能いただきました。

なお、大会終了後、大会を記録した次の記録集等を刊行し、関係機関や出演団体等に配布しました。

- ・記録集 『第49回北海道・東北ブロック民俗芸能大会記録』(平成20年3月刊行)
- ・映像記録 DVD「第49回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」(2枚組)



4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる3件の調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関する研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布しました。

①アイヌ民俗文化財に関する調査事業

戦後、サハリン(旧樺太)から北海道に移住してきたアイヌの人たちから、衣食住、生産生業、信仰儀礼等に関する伝承を聞き取り調査し、その成果を報告書『平成19年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(伝承聞き取り調査Ⅳ)』(B5判224p.)として刊行しました。

②金成(かなり)マツノート整理・翻訳

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した金成マツのノートを整理翻訳し、その成果を報告書『平成19年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(ユーカラシリーズ30) わたしのおばが草小舟にわたしを乗せて流す』(B5判180p.)として刊行しました。

③知里真志保(ちりましほ)ノート整理

北海道大学教授を務めたアイヌ語学者 知里真志保博士が、北海道や樺太の各地でアイヌ語及び民族誌的な調査を実施したときのノートの判読・整理を行い、その成果を報告書『平成19年度 知里真志保フィールドノート(7)』(B5判228p.)として刊行しました。

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活動事業

アイヌ文化への理解を促進し、保存・伝承するため、基本的な生活用語や伝統的な風俗習慣及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

①アイヌ文化を理解するための基本的なアイヌ用語学習講座：14会場(362講座、4,616人)

②アイヌの伝統的有形、無形の風俗習慣に関する伝承講座：7会場(159講座、1,555人)

③アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座：17会場(112講座、1,509人)



『伝承聞き取り調査Ⅳ』



『わたしのおばが草小舟にわたしを乗せて流す』



『知里真志保フィールドノート(7)』 4

5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財である建物やお経、古銭などの保存や修理、史跡・名勝の保全や土地の公有化などの事業を行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財	北海道美々 8 遺跡出土品	北海道美々 8 遺跡出土品は、千歳市美々 8 遺跡の低湿地から発見された木製品を中心とする資料です。 19 年度はアイヌ文化期の貴重な漆器など 12 点の保存台や保存箱を作製しました。	北海道
重要文化財	旧手宮鉄道施設	旧手宮鉄道施設は、明治 13 年(1880)11 月に開通した北海道最初の鉄道「幌内鉄道」の起点である旧手宮駅構内とその周辺に残された機関車庫、転車台、貯水槽、危険品庫、擁壁などからなります。 このうち機関車庫三号は、明治 18 年竣工以来 120 年が経過しており、最も傷みの激しいものでした。修理工事は平成 18 年度から実施中で、耐震補強工事もあわせて計画中です。	小樽市
重要文化財	志海苔(しのり)中世遺構出土銭	志海苔中世遺構出土銭は、昭和 43 年の国道拡幅工事の際に函館市志海苔漁港付近で発見された 37 万枚を超える大量の銅銭です。 19 年度はこのうち 8 万枚の保存処理を行い、あわせて出土銭の収納箱や一緒に出土した大甕の支持台を作製しました。	函館市
重要文化財	カリンバ遺跡墓坑(ぼこう)出土品	カリンバ遺跡墓坑出土品は恵庭市カリンバ遺跡の縄文時代のお墓から出土した漆製品などの副葬品です。 19 年度は 118 号墓から出土した漆塗りの櫛・髪輪・腕輪 15 点の保存処理を行い、あわせて形を崩さず保存するための台・箱を作製しました。	恵庭市
重要文化財	正行寺(しょうぎょうじ)本堂	浄土真宗正行寺本堂は、江戸時代の寛政 11 年(1799)に建築された新潟県糸魚川市の満長寺本堂を明治時代に厚岸町に移築したものです。 平成 15 年の十勝沖地震による壁の亀裂などの被害や経年変化による床組部材の腐朽などの損傷が大きく、修理工事を平成 18 年度から実施しています。平成 20 年に終了予定で、明治 43 年に移築した当時の姿に復旧整備中です。	正行寺 (厚岸町)

重要文化財	蝦夷三官寺善光寺関係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。 19年度は善光寺に保管されている仏教関係資料のうち、紙本墨書及び絹本着色の仏説無量寿経(ぶっせつむりょうじゅきょう)の修理を行いました。	善光寺 (伊達市)
-------	--------------	---	--------------

指定文化財の保存整備

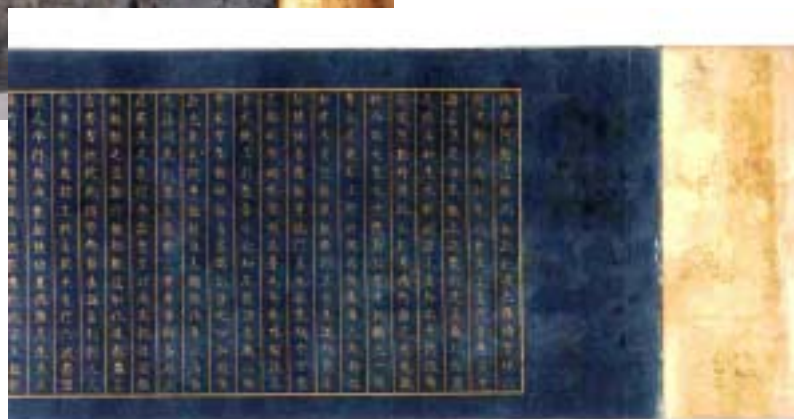


旧手宮鉄道施設 手宮機関車庫三号(小樽市) 屋根を解体調査しています。



(修復前)

(修復後)



修復された伊達市善光寺の「仏説無量寿経」(江戸時代)

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は、中世ヨーロッパの城塞都市をモデルに、元治元年(1864)に作られた洋式城郭です。 平成 17 年から遺構を確認するための発掘調査、石垣の修復を継続して実施しています。また、念願であった箱館奉行所庁舎の復元整備事業にも着手しました。	函館市
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	標津遺跡群は縄文時代からアイヌ文化期にかけての竪穴住居跡やチャシ跡が確認されています。また、標津湿原は標津川下流とポー川に挟まれた地域にあり、エゾゴゼンタチバナなど 80 種類の湿原植物が生育しています。 19 年度は継続事業として、遺跡の内容を確認するための試掘調査、湿原散策のための木道整備、史跡境界標と説明板の設置を実施しました。	標津町
史 跡	松前氏城跡福山城跡館城跡のうち福山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した我が国最北の城です。外国船対策(海防)を目的とした台場が城内外にありました。継続事業で、遺構の内容を把握するための確認調査を進めています。 19 年度は一番・二番台場および堀廻り地区の調査を実施しました。	松前町
史 跡	ユクエピラチャシ跡	ユクエピラチャシ跡はアイヌのチャシ跡の中では道内屈指の規模のもので、利別川近くの険しいがけの頂上にあり南北 110m、周りに掘られた壕の深さは 3m にもなります。 19 年度はチャシ跡の郭内整備のため、新しい盛土の除去を行いました。また、見学路設置のための試掘調査、環境整備として林の間伐と切株整理を実施しました。	陸別町
史 跡	大船遺跡	大船遺跡は、大舟川左岸の台地にある縄文時代中期の遺跡で、平成 13 年に国の史跡に指定されました。 19 年度は整備区域の基盤整備工事、竪穴住居跡や盛土遺構の復元整備および園路整備のための設計などに着手しました。	函館市
名 勝	旧岩船氏庭園(香雪園)	旧岩船氏庭園(香雪園)は、道内有数の呉服商であった岩船家が明治 31 年(1898)(一説に明治 28 年ともいう)頃から湯川地区に造成した和洋織り交ぜた大規模で本格的な庭園です。 19 年度は園亭周辺の整備事業を引き続き行うとともに、	函館市

		板倉の保存修理のために試掘調査を実施しました。また、ガイダンス機能をもつ緑のセンターの建設も進んでいます。	
史 跡	最寄貝塚	最寄貝塚は、網走川がオホーツク海に注ぐ河口左岸の砂丘上にあるオホーツク文化を中心とする遺跡です。 19 年度は継続で実施してきた遺構の内容を把握するための確認調査の最終年になりました。これまでに、新旧 2 枚の重複した床面をもつオホーツク文化の住居跡や、墓域、魚骨・海獣骨の集積などが新たに確認されました。	網走市
史 跡	上之国館跡	上之国館跡は 16 世紀頃に築かれた勝山館跡・洲崎館跡・花沢館跡をあわせて平成 18 年に追加・統合指定されたものです。 19 年度は勝山館跡正面の大手空壕周辺で、虎口や道跡の遺構を確認するための調査を実施しました。また、案内表示板や遺構の表面表示板なども設置しました。	上ノ国町
史 跡	松前氏城跡福山城跡館城跡のうち館城跡	館城は松前藩の城として明治元年（1868）9 月 1 日に着工し、明治元年（1868）10 月 25 日に完成しました（55 日間で完成）が、11 月 12 日「榎本軍」の来襲により藩主は脱出し、15 日に落城しました。 19 年度は町が国庫補助を受けて、指定地内の民有地を一括で買い上げました。この後は、策定された保存管理計画に沿った整備事業が予定されています。	厚沢部町



**陸別町ユクエピラチャシ跡
環境整備後の風景
(アイヌ文化期)**



**厚沢部町史跡松前氏城跡館城跡
調査風景(幕末)**

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群	函館市元町末 広町重要伝統 的建造物群保 存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。19 年度は、金森倉庫 5 号主屋など 5 件の修理・修景事業を実施しました。	函館市
重要文化的 景観	アイヌの伝統 と近代開拓に よる沙流川流 域の文化的景 観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 19 年度は、整備計画の作成や策定にむけた準備作業、追加申出候補区域の地籍等の調査、「文化的景観に関する講演会」・「びらとり文化的景観フォーラム」・現地説明会の開催や文化的景観解説マップ作製等の普及啓発事業を行いました。	平取町



(修理前)

(修理後)→



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区

日和館(大正 10 年築、店舗併用住宅)



びらとり文化的景観フォーラムの様子
(平取町)

6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会とが前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、22,330.050haについて所在調査を、95.133haについて試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

- ① 工事や開発を計画



- ②  埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

- ③  埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)

- ④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。

(川や海のそばの高台は特に要注意！)

土器・石器などが落ちていないか

実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。

掘った土の中に土器・石器等があるか

調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。 (出土した土器、約 2000 年前のもの)

(中央の黒い土のシミが、縄文時代の穴の跡)



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。

(北海道教育委員会など)

- (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会職員が立ち会う。
- (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

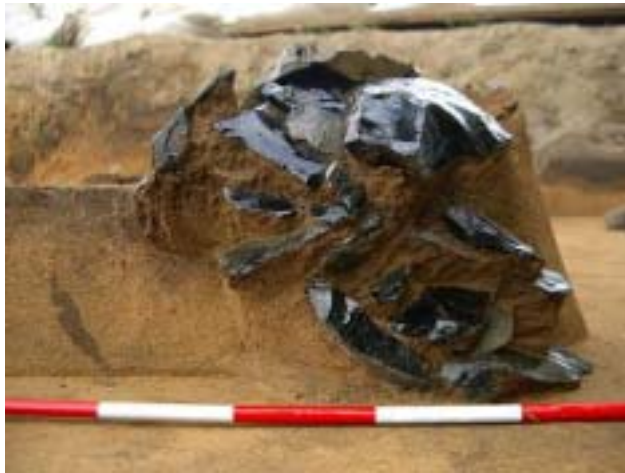


⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

6 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査や分布調査などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
埋蔵文化財	町内遺跡	土砂採取事業に伴う札内K遺跡の発掘調査を実施しました。調査の結果、旧石器時代の石器、縄文時代の遺構・遺物が確認されました。	幕別町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡福山城の石垣を切り出した神明石切り場跡の測量と試掘調査、及び平成 18 年度に発掘調査した福山城下町遺跡の資料整理作業を行いました。	松前町
埋蔵文化財	市内遺跡	縄文時代の馬蹄形の盛土が確認されている垣ノ島 A 遺跡の発掘調査と、開発が予想される豊原 2 遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査を実施しました。	函館市
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の環状列石がある史跡鷺ノ木遺跡の広がりを確認するための分布調査と、史跡を守るためシートで覆うなどの保存措置を行いました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	幕末に急きょ作られた松前藩の城である館城の内容を確認するため発掘調査を実施し、堀や柵列を確認しました。	厚沢部町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される下学田 13 遺跡、吉井の沢 1 遺跡、大麻 13 遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査を実施しました。	江別市
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 8 カ所の所在調査と、33 カ所の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札幌市
埋蔵文化財	町内遺跡	汐吹遺跡、木ノ子遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査と、町内 7 遺跡の地図作製及び出土遺物の整理・公開を行いました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される地区の所在調査を行い、新たに 3 カ所の遺跡を確認しました。また、2 遺跡の広がりや内容を確認するための分布調査を実施しました。	美幌町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 2 遺跡の試掘調査と、広がりや内容を確認するための 2 遺跡の分布調査を実施しました。また、遺跡地図の作製作業とカリンバ 2 遺跡出土の金属製品の保存処理を行いました。	恵庭市



幕別町札内K遺跡

石器(剥片)集中(旧石器時代)

森町鷺ノ木遺跡

調査風景(縄文時代)

中央奥に環状列石があります。



恵庭市柏木川8遺跡

調査風景(縄文時代)

等間隔に調査し、遺跡の広がりや
内容を確認します。

松前町神明石切り場跡

大割りされた石(江戸時代)

福山城の石垣用の石を切り出し
た跡です。



7 発掘調査

平成 19 年度は北海道内で 93 件、148,261 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	63	74,289 m ²
財団法人北海道埋蔵文化財センター	19	71,520 m ²
大学・博物館等	11	2,452 m ²



竪穴住居跡の調査状況

(函館市白尻小学校遺跡)

縄文中期 1 軒、後期 10 軒の竪穴住居跡が検出されました。

落とし穴の調査状況

(登別市富岸川右岸遺跡)

縄文中期後半から後期初頭の頃の落とし穴 379 基が検出されました。落とし穴の密集する度合いは北海道内で最も高いものです。



シカの送り場跡

(厚真町上幌内モイ遺跡)

樽前 b 火山灰 (1667 年降下) の直下で、大木の根元からシカ 1 頭分の全身骨格が検出されました。

・平成 19 年度の発掘調査の概要は→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/maizouh19.htm>
<http://www.domaibun.or.jp/nenpo20.pdf>

Ⅱ 資 料 編

1 文化財

(1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国 道	区 分	種 別	地域を定めず	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	宗 谷	留 萌	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計		
国	指 定	国宝			1														1		
		重要文化財		13	13	4	3		1	1	2	1	3	1		2		5	49		
		重要無形文化財																		0	
		重要有形民俗文化財		1	1						1			1						4	
		重要無形民俗文化財		1																1	
		特別史跡			1															1	
		史跡		8	9	2	6	1			1	4	6	1	2	6	3			49	
		名勝			1							1								2	
		特別天然記念物	1	1						1				1	1		1			6	
		天然記念物	14	2	2	2	2	2	2	2		2	1	1	2	1	5	3		41	
		小計	15	26	28	8	11	3	4	1	6	7	11	6	3	14	6	6	5	154	
	選 定	重要伝統的建造物群保存地区			1															1	
		重要文化的景観												1						1	
		小計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	登 録	有形文化財（建造物）		16	9	1	11	23	10	2			5	6	1	6		4		94	
		記念物			1															1	
		小計	0	16	10	1	11	23	10	2	0	5	6	1	6	0	4	0	0	95	
	道	指 定	有形文化財		5	31	7	5	3		3	2	2	4	1	4	2	3		72	
			無形文化財			1															1
			有形民俗文化財		2	1	3														6
無形民俗文化財					1	5														6	
史跡					4	1	3	1	1	2			5	2	2	4	1			26	
名勝										1				1						2	
天然記念物					2	1		4	1	5			5	1	1	7	1	3		31	
小計			0	7	40	17	8	8	3	10	2	13	7	4	15	4	6	0	0	144	
合 計			15	49	79	26	30	34	17	13	8	25	24	12	24	18	16	5	395		

・北海道の文化財→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo.htm>

(2)国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	松前町	S16. 5. 8
4	浜松千鳥図罽 銘安親	北見市	S30. 2. 2
5	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58. 6. 2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土墳墓出土）	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町	H3. 6. 21
26	北海道湯の里 4 遺跡土墳出土品	知内町	H3. 6. 21
27	龍雲院	松前町	H4. 1. 21

28	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4. 1. 21
29	正行寺本堂	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別 1 遺跡土墳墓出土品	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	札幌市（北海道立 文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々 8 遺跡出土品	江別市（北海道立埋 蔵文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4

※国保有重要文化財（No.6・18 東京国立博物館保管、No.22 北海道立埋蔵文化財センター、No.33 江別市郷土資料館、No.41 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈（旧佐賀家漁場）用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシャマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23

22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚	伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアップツチャシ跡	新ひだか町・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷲ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14

2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13. 8. 13
---	-------------	-----	------------

【特別天然記念物】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	主な生息地北海道	S27. 3. 29

【天然記念物】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	倶知安町・京極町・喜茂別町・真狩村・ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒヒョウモン	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ	主な生息地北海道	S40. 5. 12

24	イヌワシ	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトトリシジミ	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原	標茶町・鶴居村・釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	足寄町	H12. 9. 6

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26

・国指定文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3)道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	函館市	S34. 2. 24

6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯉供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	榎法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上/国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11

41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイポ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行臼駒通	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18

【無形文化財】

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	S33. 4. 10

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鯨様(妙亀・法鯨大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鯨様(龍神・妙亀菩薩・鯨神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱田周堤墓及び出土遺物	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17

16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓史三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球類	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18

19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	S49. 12. 6
29	タキワカイギョウ化石標本	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	芦別市	H14. 3. 29

・道指定文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4)管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財(建造物)		有形文化財 (美術工芸品)	無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形					
石狩	8	(8)	23	1	0	3	5	0	1	0	41
渡島	2	(2)	103	0	12	15	8	4	8	0	152
桧山	7	(10)	50	0	9	12	4	1	1	0	84
後志	7	(7)	29	1	0	11	24	1	12	0	85
空知	15	(16)	33	3	4	16	10	0	10	0	91
上川	16	(16)	19	1	0	9	16	0	21	0	82
留萌	2	(2)	3	0	3	7	42	0	1	0	58
宗谷	10	(10)	18	0	0	2	14	0	7	0	51
網走	8	(8)	13	0	3	1	6	0	7	0	38
胆振	6	(6)	32	0	12	14	21	0	15	0	100
日高	1	(1)	17	3	0	0	1	1	1	0	24
十勝	2	(2)	36	0	1	8	6	0	14	0	67
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	14	0	1	2	6	0	21	0	46
合計	89	(97)	404	11	45	102	169	7	133	0	960

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/NR/rdonlyres/2687E7F2-5763-4874-9E05-C79B0D4B8CCF/0/h19shichoson.pdf>

(5)管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
石狩	16	0
渡島	9	1
桧山	1	0
後志	11	0
空知	23	0

管内	有形文化財	記念物
上川	10	0
留萌	0	0
宗谷	2	0
網走	5	0
胆振	6	0

管内	有形文化財	記念物
日高	1	0
十勝	6	0
釧路	0	0
根室	4	0
合計	94	1

(6)登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔有形文化財〕

(平成20年3月31日現在)

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28

22	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9

57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R 小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R 小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31

92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20. 3. 7

〔記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

- ・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(8)平成 19 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 34 名を委嘱して計画的に巡視を行い、合わせて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	48	52	2	47	11,683	
パトロール実施件数	24	46	0	52	293	415

(9) 平成 19 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官・教育委員会の許可が必要となります。

国指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	22	2	40	64
北海道教育委員会	16	0	5	21
市教育委員会	9	0	7	16

道指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	1	12	13

(10) 平成 19 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類登録審査会を 4 回開催し、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
127	60	487	47	7	728

- ・銃砲刀剣類登録審査会のお知らせ→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/toukennsinnsakai.htm>

2 埋蔵文化財

(1)市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

石狩	札幌市	522	後志	倶知安町	21	上川	名寄市	150	宗谷	利尻富士町	20	日高	様似町	28
	江別市	142		共和町	30		富良野市	136		(宗谷計)	348		えりも町	67
	千歳市	279		岩内町	13		鷹栖町	28		網走市	166		(日高計)	602
	恵庭市	124		泊村	33		東神楽町	24		北見市	447		帯広市	57
	北広島市	59		神恵内村	10		当麻町	18		紋別市	66		音更町	101
	石狩市	221		積丹町	17		比布町	22		大空町	63		土幌町	39
	当別町	18		古平町	11		愛別町	23		美幌町	117		上土幌町	74
	新篠津村	2		仁木町	24		上川町	23		津別町	54		鹿追町	40
	(石狩計)	1,367		余市町	63		東川町	22		斜里町	358		新得町	28
渡島	函館市	318	空	赤井川村	66	川	美瑛町	43	走	清里町	34	勝	清水町	34
	松前町	118		(後志計)	802		上富良野町	37		小清水町	42		芽室町	61
	福島町	33		岩見沢市	54		中富良野町	35		訓子府町	263		中札内村	5
	知内町	32		夕張市	16		南富良野町	25		置戸町	104		更別村	13
	木古内町	47		美瑛市	6		占冠村	11		佐呂間町	38		大樹町	32
	北斗市	104		芦別市	93		和寒町	36		遠軽町	215		広尾町	21
	七飯町	72		赤平市	13		剣淵町	30		上湧別町	27		幕別町	130
	鹿部町	6		三笠市	12		下川町	69		湧別町	27		池田町	58
	森町	50		滝川市	10		美深町	42		滝上町	15		豊頃町	52
	八雲町	99		砂川市	19		音威子府村	10		興部町	37		本別町	93
	長万部町	48		歌志内市	0		中川町	10		西興部村	14		足寄町	114
	(渡島計)	927		深川市	75		(上川計)	1,053		雄武町	48		陸別町	55
	江差町	64		南幌町	0	留萌	留萌市	28		(網走計)	2,135		浦幌町	58
	上ノ国町	85		奈井江町	22		増毛町	16	胆	室蘭市	35		(十勝計)	1,065
山	厚沢部町	53	知	上砂川町	0		小平町	19		苫小牧市	242	釧路	釧路市	135
	乙部町	111		由仁町	37		苫前町	15		登別市	28		釧路町	76
	せたな町	70		長沼町	56		羽幌町	32		伊達市	88		厚岸町	90
	奥尻町	32		栗山町	37		初山別村	7		豊浦町	20		浜中町	121
	今金町	59		月形町	8		遠別町	5		洞爺湖町	12		標茶町	207
	(檜山計)	474		浦臼町	48		天塩町	42		壮瞥町	1		弟子屈町	49
	小樽市	102		新十津川町	15		幌延町	18		白老町	43		鶴居村	73
	島牧村	24		妹背牛町	4		(留萌計)	182		安平町	65		白糠町	30
	寿都町	43		秩父別町	8	宗谷	稚内市	139	振	厚真町	109		(釧路計)	781
後志	黒松内町	51	上川	雨竜町	5		猿払村	18		むかわ町	95	根室	根室市	300
	蘭越町	48		北竜町	10		浜頓別町	19		(胆振計)	738		別海町	85
	ニセコ町	194		沼田町	6		中頓別町	8	日高	日高町	128		中標津町	66
	真狩村	20		幌加内町	8		枝幸町	69		平取町	125		標津町	166
	留寿都村	7		(空知計)	562		豊富町	14		新冠町	43		羅臼町	75
	喜茂別町	13		旭川市	213	谷	札文町	50		新ひだか町	153		(根室計)	692
	京極町	12		士別市	46		利尻町	11		浦河町	58		計	11,728

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」へ

→<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

(2)平成 19 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	1,108	
平成 19 年度北海道実施の所在調査	98	22,330.050ha
平成 19 年度北海道実施の試掘調査	61	95.133ha

(3)平成 19 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
石狩	2	299.000ha	7	5.533ha
渡島	4	268.855ha	9	8.406ha
桧山	1	55.400ha	0	—
後志	0	—	1	1.200ha
空知	8	4,029.314ha	4	1.688ha
上川	16	4,351.479ha	6	6.455ha
留萌	5	642.888ha	6	10.747ha

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
宗谷	1	2.924ha	2	1.000ha
網走	17	4,416.593ha	7	37.736ha
胆振	5	225.031ha	5	8.925ha
日高	0	—	2	3.600ha
十勝	32	4,763.431ha	11	7.843ha
釧路	3	48.835ha	1	2.000ha
根室	7	3,226.300ha	0	—

・平成 19 年度の所在・試掘調査→<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/surveytestpit.htm>

(4)平成 19 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
石狩	15	50,838 m ²
渡島	23	35,166 m ²
桧山	5	3,567 m ²
後志	1	180 m ²
空知	0	—
上川	2	4,950 m ²
留萌	0	—

管内	件数	調査面積
宗谷	1	35 m ²
網走	25	23,576 m ²
胆振	10	25,950 m ²
日高	0	—
十勝	3	1,866 m ²
釧路	3	1,045 m ²
根室	5	1,088 m ²
合計	93	148,261 m ²

・平成 19 年度の発掘調査の概要は→<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/maizouh19.htm>

(5)平成 19 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	7	103	37	2	149
法第 94 条	0	36	99	39	4	178

(6)平成 19 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	1	0	1	1	3

(7)平成 19 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	82	2	84	3,512 箱
政令市・中核市	2	28	30	759 箱

(8)平成 19 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	12	30	402 箱

※箱は 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1)北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成20年3月）

基本目標5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向11 文化・芸術活動の推進

項目36 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、これまでも道民の共有財産として保存・活用を図ってきましたが、時代の推移により保存や伝承が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。

また、本道初の国宝の誕生や縄文遺跡群など【縄文】の世界遺産登録への気運の盛り上がりなどにより、文化財に対する関心が一層高まる中で、本道の特性を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが求められています。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を重点的に推進します【アイヌ】。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に努めます。

● 施策の対応方向

■ 文化財の調査・保存・活用の推進

・ 有形・無形の文化財、史跡・名勝・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。

■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進

・ アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校においてアイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深める教育活動の充実に取り組みます。

■ 世界遺産登録に向けた取組の推進

・ 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。

■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信

・ 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、子どもや地域の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。

● 主な事業の概要（H20～24）

事業の概要	実施主体
○ 文化財の調査・保存・活用の充実 ・ 文化財の指定や登録等を推進するとともに、文化財パトロールの実施等により、指定文化財等の現状を把握し、必要に応じて保存整備を行います。 ・ 埋蔵文化財包蔵地の的確な把握とその周知に努めます。	道 市町村 民間
○ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ・ アイヌ民俗文化財調査事業やアイヌ民俗文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ民族文化祭」やアイヌ語指導者養成講座等の開催を支援します。 ・ アイヌ民俗文化財等の指定を推進します。	道 市町村 民間
○ 世界遺産登録に向けた取組の推進 ・ 縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を資産候補として、北東北3県（青森県、岩手県、秋田県）及び道内関係市町村等と連携を図り、世界遺産暫定一覧表への登録をめざすとともに、普及・啓発事業や周知活動に取り組めます。	道・県 市町村 民間
○ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ・ 「文化財保護強固月間」を設けて文化財に親しむ機会を提供するとともに、web版「北海道文化財年報」や指定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する総合的な情報の発信に取り組めます。	道 市町村 民間

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H18 295件	H24 320件
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H18 1,262人	H24 1,500人

(2)平成 19 年度北海道文化財保護審議会

北海道文化財保護審議会は、北海道文化財保護条例に基づき、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査・審議するために設置され、15名の委員で構成されています。

平成 19 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	審議内容
平成 19 年 9 月 7 日(金)	13 : 30 ～15 : 30	道庁別館 10 階 北海道労働委員会会議室	・道指定文化財の候補物件について ・「新しい教育計画」と「北海道文化財保護」の基本方針について ・アイヌ文化の振興と文化財指定について
平成 20 年 2 月 14 日(木)	13 : 30 ～15 : 30	道庁別館 10 階 北海道労働委員会会議室	・文化財の指定・登録等について ・「北海道文化財保護の基本方針」の取扱いについて ・「新しい教育計画」について ・世界遺産暫定一覧表登載に係る共同提案について ・道指定文化財の諮問に対する答申について

(3)北海道文化財保護審議委員一覧（平成 20 年 3 月 31 日現在）

（任期：平成 18 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

氏 名	所 属 等
小川 巖	エコ・ネットワーク代表
沖野 慎二	北海道東海大学准教授
小栗 祐美	北海道教育大学教授（函館校）
片倉 晴雄	北海道大学大学院教授
角 幸博	北海道大学大学院教授
菊地 静夫	北海道開発局開発監理部長
菊池 俊彦	北海道大学名誉教授
小林 真人	北星学園大学教授
齋藤 傑	三浦綾子記念文学館副館長
佐藤 一夫	特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団理事長
進藤貴美子	北海道教育大学教授（釧路校）
高橋 英樹	北海道大学総合博物館教授
常田 益代	北海道大学留学生センター教授
富澤多美男	北海道森林管理局企画調整部長
箕浦名知男	北海道大学総合博物館研究員

・北海道文化財保護審議会について→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 19 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 19 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 19 年 5 月 25 日(金)	10:30～15:00	道庁別館 7 階会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 19 年 8 月 29 日(水)	10:30～15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 19 年 11 月 28 日(水)	10:30～15:00	道庁別館 8 階 1 号会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 20 年 2 月 26 日(火)	10:30～15:00	北海道渡島合同庁舎西棟 402 号会議室(函館市美原 4 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

(任期：平成 18 年 5 月 16 日～平成 20 年 3 月 31 日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
吉 田 隆 治	札幌(5 月)、函館
田 中 益 穂	旭川、札幌(11 月)
渡 邊 徹	札幌(5 月)、函館
野 波 明 利	旭川、札幌(11 月)
石 井 利 明	札幌(5 月)、札幌(11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

①入館者

平成 19 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	669	1228	1099	1425	1517	907	939	627	536	633	329	528	10,437

②資料等の閲覧・貸出等件数

平成 19 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	7	7	11	12	9	5	5	11	10	5	14	15	111

③事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 18 年度発掘調査報告会	平成 19 年 4 月 14 日	62 人
	秋季講演会	平成 19 年 11 月 10 日	69 人
	冬季講演会	平成 20 年 1 月 26 日	47 人
考古学教室	ガラス玉づくり 1	平成 19 年 6 月 23 日	15 人
	ガラス玉づくり 2	平成 19 年 6 月 30 日	12 人
	縄文ネックレスづくり	平成 19 年 9 月 8 日	23 人
	石器づくり	平成 19 年 11 月 3 日	12 人
	考古学入門講座	平成 19 年 12 月 15 日	47 人
	拓本講座	平成 20 年 3 月 22 日	27 人

考古学教室	夏休み親子考古学教室 1(第 1 回)	平成 19 年 7 月 28 日	28 人
	夏休み親子考古学教室 2(第 2 回)	平成 19 年 8 月 11 日	17 人
	冬休み親子考古学教室 1(第 1 回)	平成 20 年 1 月 5 日	40 人
	冬休み親子考古学教室 2(第 2 回)	平成 20 年 1 月 19 日	11 人
体験ひろば	写生会	平成 19 年 8 月 4 日	14 人
	冬休み縄文生活体験ひろば	平成 20 年 1 月 4～13 日	20 人
	冬休み親子写真撮影会	平成 20 年 1 月 12 日	9 人
研修会	平成 19 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 19 年 11 月 10 日	26 人

④平成 19 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 18 年度発掘調査成果展	平成 19 年 3 月 27 日～6 月 10 日
2	わかる考古学 1—縄文生活体験ひろば—展	平成 19 年 7 月 7 日～8 月 26 日
3	交流の考古学 3—船—展	平成 19 年 9 月 29 日～11 月 18 日
4	わかる考古学 2—北海道遺跡百選—展	平成 20 年 1 月 5 日～3 月 2 日
5	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 19 年度発掘調査成果展	平成 20 年 3 月 29 日～6 月 8 日

⑤平成 19 年度考古学教室出前講座一覧

事業分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
苫前町	苫前町考古資料館	平成 19 年 6 月 16 日	17 名
北見市	北見市立瑞穂小中学校	平成 19 年 7 月 3 日	35 名
白老町	虎杖浜 2 遺跡発掘調査事務所	平成 19 年 7 月 14 日	55 名
長沼町	長沼町役場 3 階会議室	平成 19 年 9 月 2 日	17 名
共和町	共和町かかし古里館	平成 19 年 9 月 15 日	30 名
利尻町	利尻交流促進施設どんと	平成 19 年 9 月 22 日	21 名
白糠町	白糠町社会福祉センター	平成 19 年 12 月 22 日	15 名

依頼分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
北広島市	北広島市中央公民館	平成 19 年 7 月 8 日	180 名
北広島市	北広島市立広葉中学校	平成 19 年 12 月 12 日	40 名

(7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (随時更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm
「土偶」の国宝指定について	平成 19 年 6 月 8 日	平成 19 年 6 月 8 日に国宝に指定された「土偶」(函館市著保内野遺跡出土)について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/doguu.htm
北海道の文化財	平成 19 年 11 月 29 日	北海道洞爺湖サミットオフィシャルサイトの「北海道について」で北海道の文化財の概要について日本語と英語で紹介しました。
		URL : http://www.do-summit.jp/hokkaido/
指定文化財をみることのできる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19museum-guide.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 19 年度版)	平成 20 年 3 月 4 日	平成 19 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/maizouh19.htm

(8)文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部道民活動文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/sbs/
3	財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/